



北九州市の 海外事業展開支援について



2022年12月16日

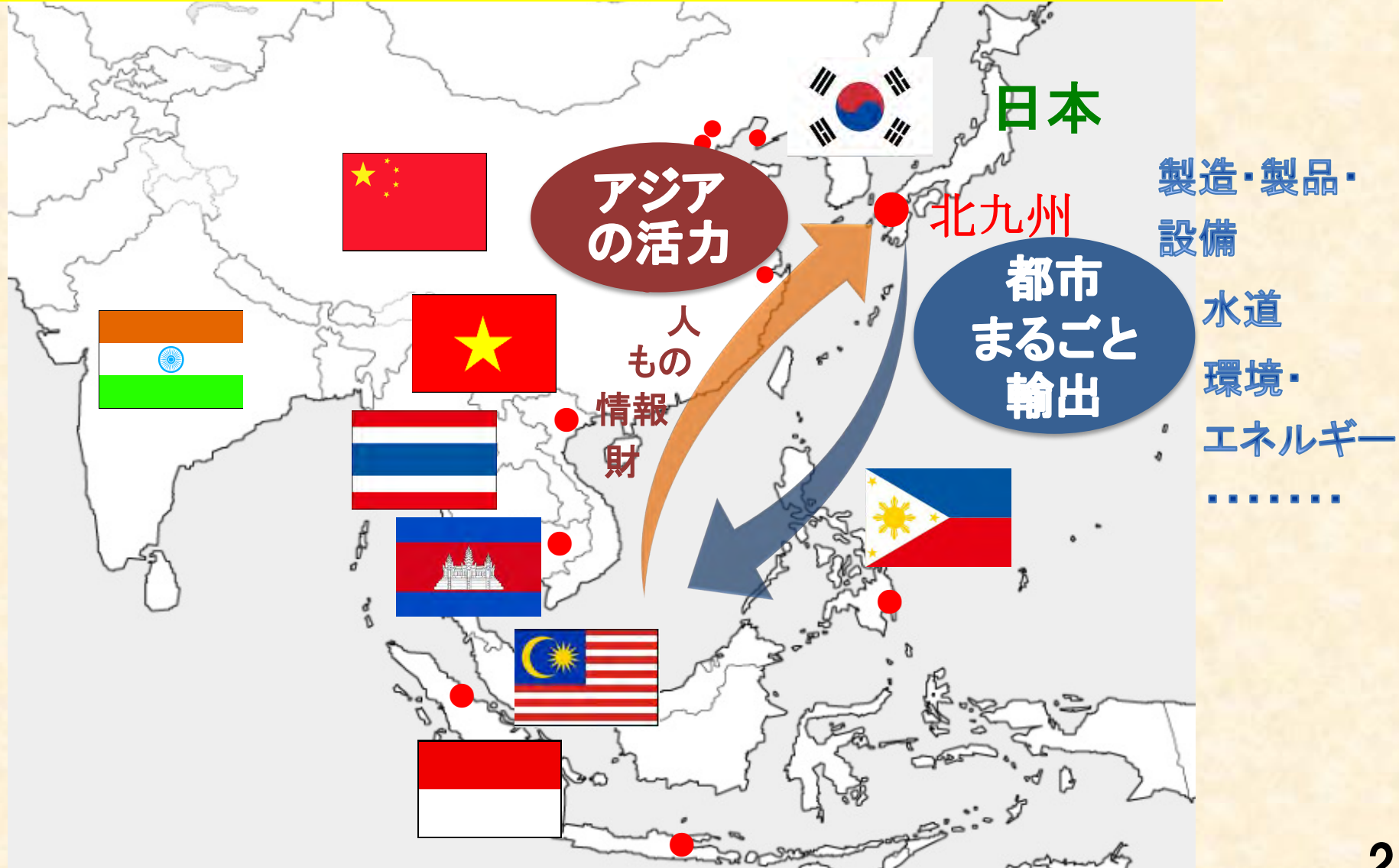
北九州市環境国際部／アジア低炭素化センター



アジアの活力と北九州の成長



北九州市は、中小企業の海外展開を積極的に支援 !!





複数部局による企業支援



市長

副市長 (現在、3名)



北九州市長 北橋 健治



環境関連技術・
インフラ輸出支援

- 環境局
- 総務政策部 (総務課、環境学習課)
 - グリーン成長推進部 (グリーン成長推進課、再生可能エネルギー導入推進課、環境イノベーション支援課)
 - 環境国際部 (アジア低炭素化センター)
 - ・環境国際戦略課長
 - ・事業化支援担当課長
 - ・国際連携推進担当課長
 - 環境監視部 (環境監視課、産業廃棄物対策課)
 - 循環社会推進部 (循環社会推進課、業務課、施設課、工場(3か所))
 - 環境センター(3カ所)

[公営企業]

兼務

[その他事務局]

- 会計室
- 危機管理室
- デジタル市役所推進室
- 秘書室
- 広報室
- 技術監理局
- 企画調整局
- 総務局
- 財政局
- 市民文化スポーツ局
- 保健福祉局
- 子ども家庭局
- 環境局
- 産業経済局
- 建設局
- 建築都市局
- 港湾空港局
- 区役所 (7区) (門司, 小倉北, 小倉南, 若松, 八幡東, 八幡西, 戸畑)
- 消防局
- 上下水道局
- 交通局
- 公営企業局
- 教育委員会
- 市議会
- 行政委員会 (選挙、監査、人事委員会)
- 農業委員会

貿易・投資のワンストップ支援



KTIセンター (北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター)



地元企業の海外ビジネスを支援するワンストップ支援機関

構成団体

北九州市
スタートアップ推進課
[国際ビジネス担当]

地元企業及び
海外支援機関情報

TEL : 093-551-3605
FAX : 093-551-3615

ジェトロ北九州

海外情報

TEL : 093-541-6577
FAX : 093-551-2685

(公社)
北九州貿易協会

貿易実務

TEL : 093-541-1969
FAX : 093-522-5120

所在地など

北九州市小倉北区浅野3-8-1
AIMビル8F
<https://www.kti-center.jp/>



支援体制の構築

海外展開支援

対日投資促進

- ◆ 海外ビジネスに関する各種情報提供
- ◆ セミナー・イベントの開催
- ◆ 貿易投資相談アドバイザーによる無料相談
- ◆ 製品・技術の海外販路開拓支援
- ◆ 中小企業海外展開助成金
- ◆ 対日投資事業(外国・外資系企業誘致)



中小企業海外展開助成金



【個別事前相談 問合せ先】

北九州市産業経済局スタートアップ推進課 TEL 093-551-3605

e-mail san-startup@city.kitakyushu.lg.jp

例年の募集開始：4月～（但し、北九州市の予算成立状況による）

事業名	内容	助成対象	助成率・限度額
市場調査等	新規海外展開先での市場調査（現地またはオンライン）	旅費、通訳、外国語資料、現地での展示装飾費、調査実施に伴う輸送費等	助成対象経費の1/2以内。 限度は10万円。
海外見本市等 出展	海外の見本市・展示会等への出展	出展費用、旅費、通訳、輸送費、資料作成費等	助成対象経費の1/2以内。 限度は30万円。
越境EC販路 開拓	越境ECサイトへの出展、自社サイト構築、販路開拓事業	ECサイト出展費用、システム構築費、販売促進費（デジタルコンテンツ等）等	助成対象経費の1/2以内。 限度は60万円（販売促進費用は限度10万円）。
認証等取得	海外展開に必要な認証等の取得	認証取得費（審査日、認証・登録費）等	助成対象経費の1/2以内。 限度は10万円。



環境技術開発関連助成制度



北九州市 環境未来技術開発助成

新規性、独自性、実現性の高い「環境技術」の研究に対して開発費の一部を助成。

- 対象: 市内企業、市外企業(条件付)
- 助成上限額(補助率):
 - * FS調査 200万円(1/3~2/3)
 - * 実証1,000万~1,500万 (1/3~2/3)
 - ・申請条件で上限額・補助率異なる。
 - * 実証研究は最長3年。
- 重点分野: リサイクル、新エネルギー、プラスチック、脱炭素関連技術、等
- 応募時期: 4~5月頃 (市予算成立状況による)

➢ 相談・問合せ先:
北九州市環境局
環境イノベーション支援課
TEL 093-582-2630

北九州市中小企業 技術開発振興助成金

中小企業が市内で実施する新技術・新製品等の研究開発に対して助成。

- 対象: 市内事業所で研究開発を行う中小企業等
(複数の企業での共同研究可)
- * 年度内に開発目標達成見込みのあるものに限る
- 助成上限額(補助率): 500万円 (2/3、創業5年未満は3/4)
- 応募時期: 4~5月中旬 (市の予算成立状況による)
- 重点分野: 新技術・新製品等の研究開発であれば、分野問わず

➢ 相談・問合せ先:
北九州市産業経済局
中小企業振興課
TEL 093-873-1433

FAIS 研究開発プロジェクト支援 事業(実用化研究開発事業)

実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に、産学連携で重点分野の研究開発に助成。

- 対象: 市内企業等
* 大学等研究機関との連携必須
- 助成上限額(補助率): 500万円 (中小企業2/3、その他は1/2)
・その他条件有
- 応募時期: 4月上旬~5月中旬 (市の予算成立状況による)
- 重点分野: 自動車、ロボット・AI・IoT、医療・保健・介護・福祉、革新的ものづくり

➢ 相談・問合せ先:
北九州産業学術推進機構(FAIS)
産学連携部 事業推進課
TEL 093-695-3006



サステナブル環境ビジネス展開事業助成金



(1) 対象案件

環境への負荷低減に寄与し、「SDGs推進」及び「サーキュラーエコノミー推進」に資すると認められる**既存の**環境関連技術・製品による、

①現地ニーズに適合させるための実証試験、②ビジネスモデル構築のためのFS

実証

既に国内で販売しており、それを海外展開しようとして現地で準備を進めている案件で、現地ニーズに合わせた仕様に変更して実証試験をすることで、売り先の理解が深まり、確実な販路促進につながるもの。

FS

既に国内で販売しており、それを海外展開するための想定国・地域におけるビジネスモデルを構築するもの。

(2) 助成対象者

「市内中小企業」または「市内中小企業と連携する市外中小企業」

※ 中小企業：会社法第二条第6項に規定する大会社に該当しない企業

※ 市内中小企業と連携：市内中小企業と一緒に事業を行うこと。

(3) 助成金額

実証 助成限度額600万円（助成対象経費の1／2以内）

FS 助成限度額200万円（助成対象経費の1／2以内）

(4) 募集時期

毎年4～5月頃（市予算成立状況による）

【個別事前相談 問合せ先】

北九州市環境局環境国際戦略課

TEL 093-662-4020



北九州環境ビジネス推進会 《KICS》

(1998年10月設立)



～国内外のパートナーと協力して先進的国際環境ビジネスに挑戦～

環境・リサイクルビジネスを中心に技術・市場情報の収集・提供・交換、プロジェクトの企画・創出、見学会、産学交流、広報等の活動を行い、会員のインキュベーターとしての役割

●会員企業:約50社

●特別会員:約25者
(企業・団体、大学等)

●主な活動

- ・月例会:講演会、セミナー、施設見学、等
- ・国内外の展示会への出展

【問合せ先(事務局)】
北九州市環境局
環境イノベーション支援課内
TEL 093-582-2630



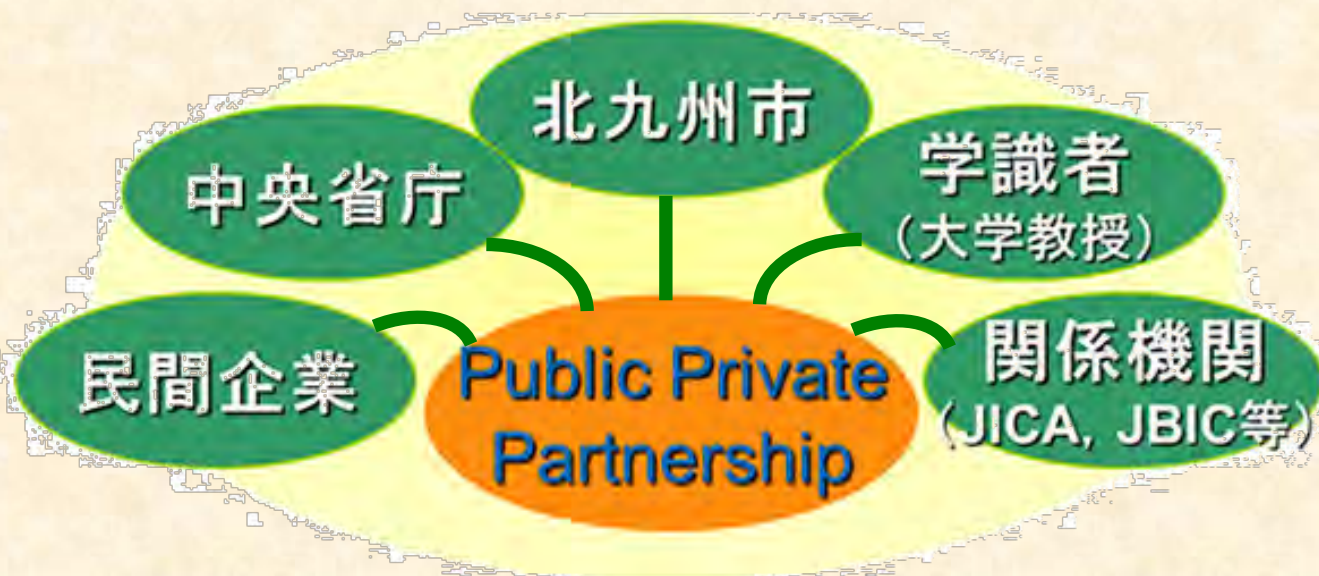


～官民連携による国際水ビジネスの推進～

【問合せ先】
北九州市海外水ビジネス推進協議会 事務局
TEL: 093-581-2166
(平日 9:00～17:00)

民間企業約140社および国の機関(JICA、JBIC、GGUS他)などが加盟

- 民間 : コンサルティング、メーカー、建設、金融など多岐にわたる技術とノウハウ
- 行政 : 政策立案の支援、自治体ノウハウの提供など



12年間の実績:
官民で81件 約230億円の
ビジネス案件を受注!



2019年 北九州・カンボジアビジネス交流会

全国のトップランナーとして
官民の力を結集した海外水ビジネスを推進



アジア低炭素化センター（2010年6月～）



- 公害克服やものづくり過程での環境技術
- 1980年代からの国際協力で構築してきた都市間ネットワークの活用
- 北九州市、日本の環境技術を集約 ↳ 166カ国 約10,000人超
- **環境ビジネス**の手法で企業の事業拡大とアジアの低炭素化を推進

～3つの組織が連携して環境国際ビジネスを推進～



北九州市

企業の環境技術輸出を
ワンストップで総合的支援

センター長
小宮山 宏
(元東大総長)



海外へ技術移転のための
国際研修や専門家派遣

“アジアの低炭素化を推進”

都市環境課題研究・
都市間ネットワークづくり



(公益財団法人)
北九州国際技術協力協会
【KITA】1980年～

(公益財団法人)
地球環境戦略研究機関
【IGES】1999年～



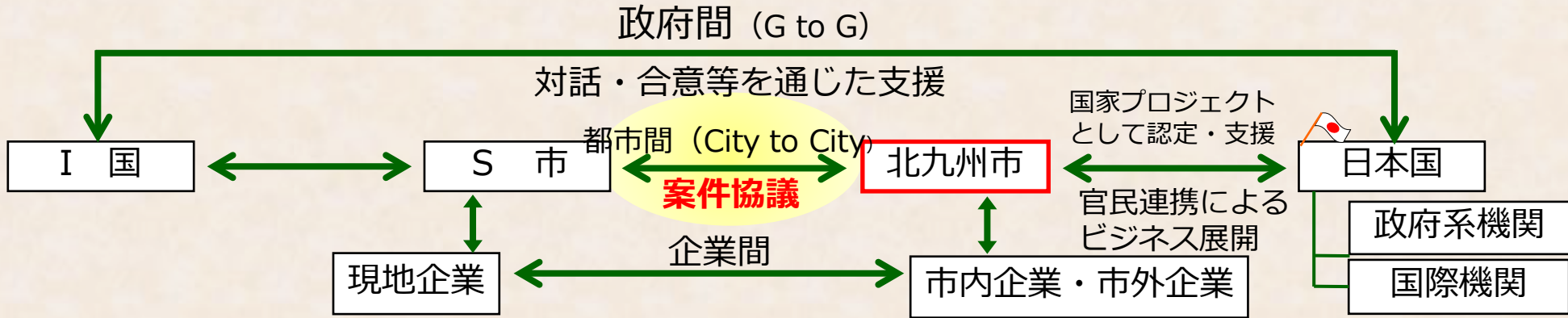
◆アジア16カ国87都市 ◆251プロジェクト ◆プロジェクト総額 370億円超 10



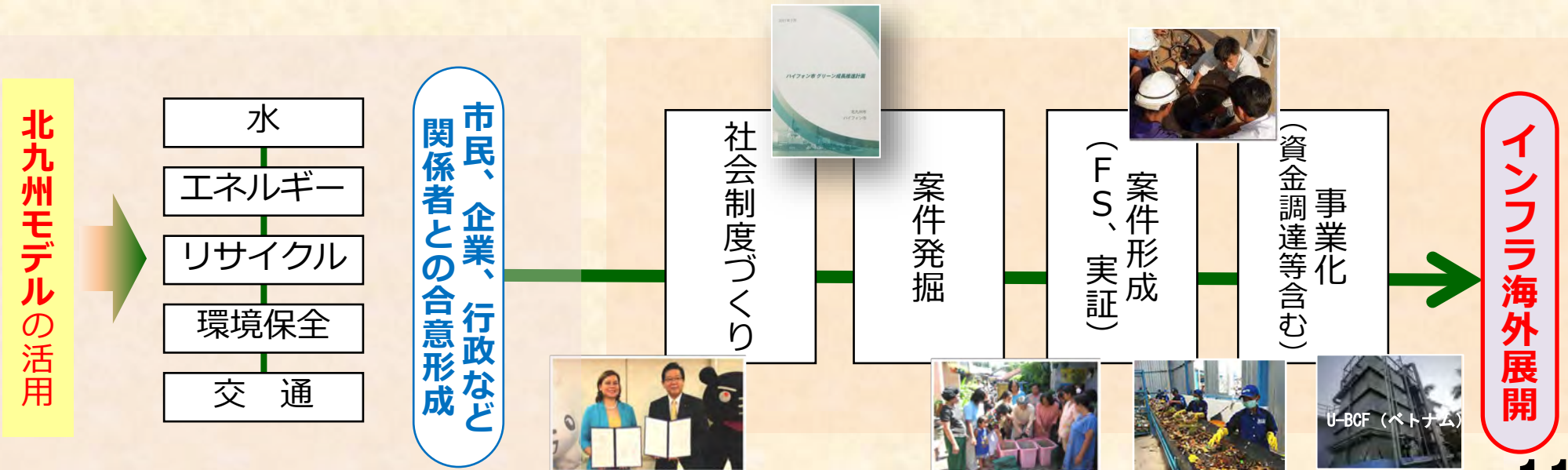
都市環境インフラ輸出の展開スキーム



政府間・都市間協力のプラットフォーム形成



ソーシャルマスタープラン（総合街づくり計画）策定から事業化まで

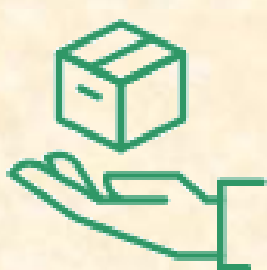




センターの事業化支援の取組



技術のパッケージ化・改良支援



企業連携の推進
(技術の組合せ化、等)

技術等の改良支援

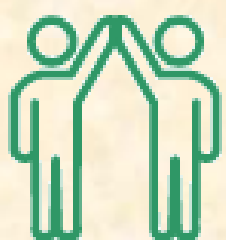
情報提供・調査支援



海外の環境情報
の提供

市場性の調査

実用化支援・販路拡大



実証実験
のサポート

海外事務所等
を通じた支援

ビジネス
訪問団の派遣

金融支援



国等の補助金
申請のバックアップ

金融情報の提供
サステナブル補助金



ベトナム・ハイフォン市での脱炭素化に向けた エコ工業団地推進事業



北九州市の有する脱炭素エネルギー普及のノウハウ

エネルギーの地産地消

蓄電池の活用・リサイクル

グリーン成長に向けた行動計画の策定

省エネ・高効率設備導入



R3. 11/24 日本・ベトナム「脱炭素実現共同協力計画書」に調印

移転

ハイフォン市

太陽光発電導入

廃棄物エネルギー利用

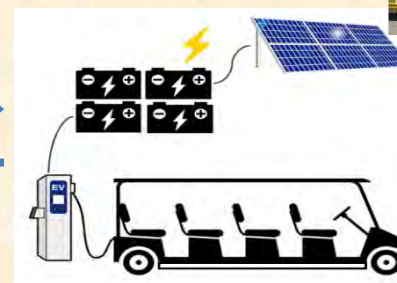
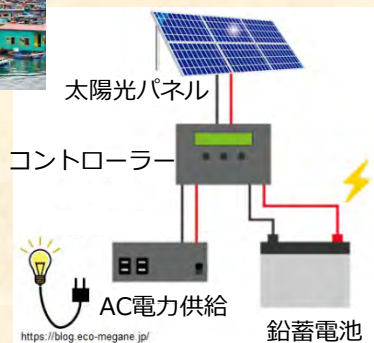
省エネ・高効率機器導入

脱炭素化に向けたノウハウ共有

例：カットバ島の再生可能エネルギー化



水上生活者



カットバ島内

ベトナム全土に展開



タイでの海洋プラスチック資源循環



観光振興と海洋プラスチック問題の同時解決



SEA Circular イニシアチブ

- 島に持ち込まれるプラスチックの削減
- コカ・コーラ社によるPETからPETへリサイクル

UN environment programme



利活用

- 島内で製造された再生油、炭、水、塩を活用し、島内完結型の循環システムを構築する。
- プラスチック問題に積極的に取り組む島としての観光振興

ホテル経営者 / フェリー会社



収集システム

- 廃プラスチックと海洋プラスチックの収集
- 島内における廃物管理システムの改善

海洋プラスチック管理に係る連携強化



リサイクルシステム

- 過熱水蒸気を利用し、プラスチックや有機物を油や炭に変換するシステムの構築

株ワンワールド・ジャパン



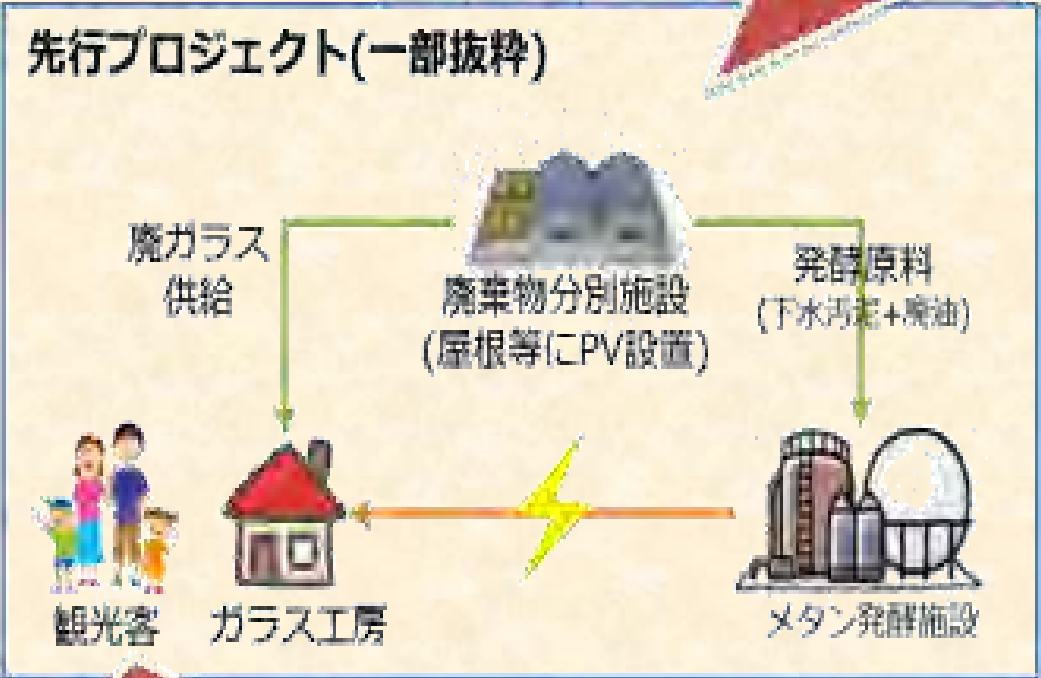
ラヨン県 ↔ 都市間連携 ↔ 北九州市 (CITY OF KITAKYUSHU)

モニタリング・検証 **IGES** (AEPW、UNEPとMOU締結)

- リサイクル活動を通じたプラスチック中立の概念整理、処理量のモニタリング・検証方法の検討・構築。



パラオ・コロール州での脱炭素技術導入支援 (創エネ・蓄エネ・省エネなど脱炭素技術導入支援)



先行プロジェクト
「包括的資源循環システム構築プロジェクト」
【これまでの検討】

- ✓ 分別・選別機能を有する積替保管施設(新設)を起点とする資源循環システムの構築検討
- ✓ バイオガス設備の発電エネルギーのガラス工房での活用や液肥の農業利用検討
- ✓ 北九州市・アマタ株式会社・ビートルエンジニアリングによる共同での検討



ゼロカーボンシティへの挑戦と国際展開



<北九州市グリーン成長戦略：2022.2月策定> エネルギーの脱炭素化/イノベーションの推進

I 経済性の高い脱炭素エネルギーの安定供給と利活用による既存産業の脱炭素化・新産業創出

太陽光

風力

水素

廃棄物発電

蓄電

電池リサイクル

II イノベーション創出に向けた企業支援

III 都市整備や交通政策を通じた快適で脱炭素なまちづくり

IV アジアを中心とする海外マーケットへの展開

産業界と連携した
「環境と経済の好循環」
の創出と目標達成

2030年度（達成目標：ターゲット）

2013年度の市内温室効果ガス排出量の

75%以上削減

2050年（目指すべき姿：ゴール）

2013年度比

150%以上削減

〈今後の取組み〉

グリーン成長戦略等の策定支援による
都市まるごと・工業団地単位の脱炭素化

- 都市マスタープラン策定支援
- 工業団地のグリーン化への協力

戦略的環境国際協力の推進

環境人材育成とネットワークの構築

グリーン成長戦略に基づく
案件発掘とビジネス化
(アジア低炭素化センター推進事業)

- サステナブル環境ビジネス展開事業
- 廃棄物焼却施設導入支援
- 再エネや脱炭素技術の導入支援
- サーキュラーエコノミーの推進



センターの今後の機能強化



基本機能の底上げとさらなる強化

1



都市間連携形態の多様化

- プロジェクト・相手国に応じた戦略設定
- アジア地域以外への拡大検討

2



企業支援機能の強化

- 政府系機関、国際機関、民間企業等との連携による活動資金多様化
- 販路拡大、競争的資金獲得のための支援

3



情報発信力の強化

- 各種メディアを活用した情報発信
- 多様な広報媒体の活用

4

さらなる機能強化

- センター機能強化に向けた有識者会議などの開催
- 民間資金確保の主流化などに向けた機能強化
- 市のみならず我が国の環境ビジネス拠点を旨とした形態の検討
- 海外展開に積極的な地方自治体との情報交換・連携強化



国際機関との協力・連携



国際協力銀行



気候変動対策・水インフラに関する相互協力
(2009年12月)

国連工業開発機関



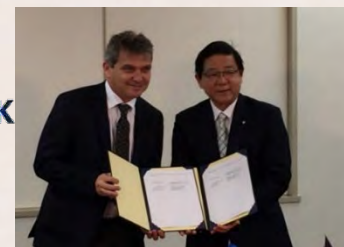
低炭素社会実現のための相互協力 (2010年6月)

世界銀行



THE WORLD BANK

Tokyo
Development
Learning
Center



「グリーン成長」と「廃棄物管理」での都市パートナーシッププログラム(2017年3月)

国際協力機構



環境配慮型都市づくりにおける国際戦略・国際協力推進に関する包括連携協力
(2013年2月)

国連環境計画



東南アジアでのプラスチック廃棄物に係る連携枠組
(2019年8月)

イクレイ (持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会)



世界120カ国1,500以上の自治体に参加する国際ネットワーク(1992年～)



JOIN（海外交通・都市開発事業支援機構）との連携



西日本・九州の自治体では初の協定



北九州SDGs



CITY OF KITAKYUSHU



海外交通・都市開発事業支援機構
Japan Overseas Infrastructure Investment Corporation
for Transport & Urban Development

- ① 海外事業の発掘・形成
(特に、都市機能増進に資する**廃棄物処理**、**クリーンエネルギー**、**水分野**)
- ② 事業者等への海外事業の打診及び協議
- ③ 事業者等への海外事業の広報



2022年7月22日
覚書締結式(於:北九州市役所)



廃棄物発電



EVバス



下水処理



分別センター



太陽光発電



浄水施設

交通・都市開発関連の環境インフラ輸出による
市内企業の脱炭素・グリーン成長を支援・促進 !!



今後の環境インフラ輸出重点分野（案）



クリーンエネルギー

廃棄物発電

クリーンエネルギー

省エネルギー

エネルギーマネジメント

廃棄物管理

廃棄物処理
(分別・収集・運搬)

リサイクル

資源、機器の有効活用

水分野

上水

下水

排水処理

水質浄化

環境汚染防止・改善

環境管理・計画づくり

大気汚染防止

土壌改良

市民啓発・環境教育

企業連携・都市間連携
の強化による新たな環境
国際ビジネス創出

交通・都市計画

交通
(バス、タクシー等)

物流(倉庫等)

最終処分場
(跡地開発を含む)

スマートシティ

脱炭素社会の実現
とSDGsの達成



Horasisアジアミーティング in 北九州



日本初開催

脱炭素・グリーン成長のメッセージを世界へ！！

アジアを中心に企業経営者・投資家など約200名が集結

2022年11月20-22日 於：北九州国際会議場 他

西村環境大臣
御祝メッセージ



開会式典



北橋市長 & リヒター会長によるスペシャルメッセージ

Horasis

The Global Visions Community

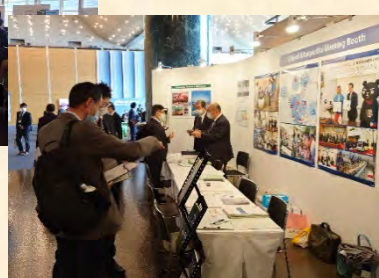
- スイスの世界的シンクタンク。
- 「Horasis」はギリシャ語で「to see, as in a vision (未来像を抱く)」。
- 会議を通じ、持続可能な未来へのビジョン設定を目指す。
- ラウンドテーブルを主体とした活発な意見交換。



北九州セッション(ESG投資拡大)



環境ビジネスネットワーキングブース



エクスカージョン

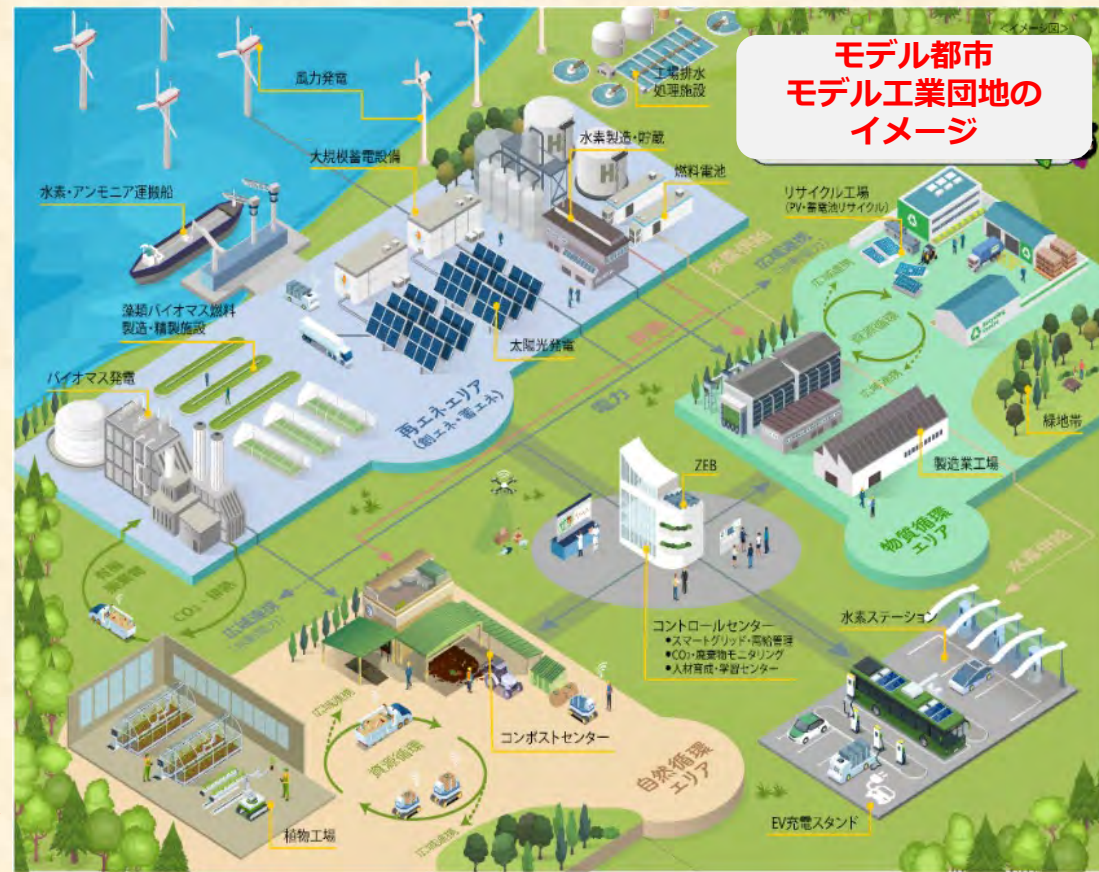
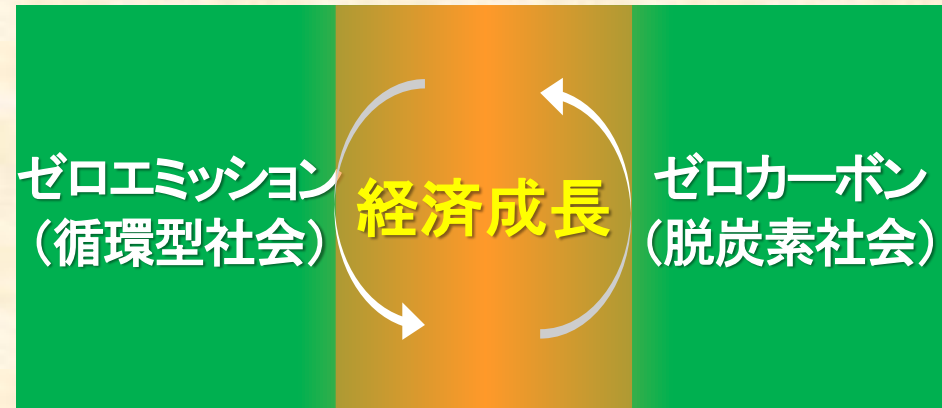




2050年に向けて ~2つの“ゼロ”と経済成長~



環境技術・インフラ輸出加速による環境と経済の好循環の実現



問合せ先:
アジア低炭素化センター
 北九州市八幡東区平野1丁目1-1
 国際村交流センター3階
 電話: 093-662-4020
<https://asiangreencamp.net/>

